



# 17春闘を総がかり行動で闘おう！

11月25日、年金制度改革関連法案（年金カット法案）が衆院厚生労働委員会で強行採決された。安倍首相は「何時間やっても一緒だ」と、TTP承認案の採決と同じ手法で切り捨てた。年金は原則

として物価や賃金の変動に合わせて改正する。しかしこの法案が成立すると、際限のない年金削減に道を開くことは明らかだ。

『下流老人 一億総老後破壊の衝撃』という新書が20万部を突破するベストセラーになっている。

先日、その著者を講師に招いて「17けんり春闘発足総会・学習集会」が東京都内で開催された。「貧困・格差・差別と切り結ぶ賃金引き上げ 労働組合への提言」がテーマだった。

貧困世代の実情が「生活保護を受けながら1日260円程の食費で生活する34歳女性」「ブラック企業で毎日17時間勤務をつけ、うつ病を患った27歳男性」「生活費を稼ぐためにブラックバイトに勤しむ大学生」等報告された。講師は「貧困であることを一生涯宿

命づけられた若者世代」と日本社会から強いられる貧困に直面していると危惧している。

一方、欧州や北欧では「給付型奨学金が当たり前、フランスでは移民や外国人留学生まで含んで給付型奨学金。月額18万円を支給される日本人。家賃は2〜3万円程度で、バイトする必要はなく学業に専念する環境がスタンダードとなっている」この格差は、将来何を生み出すのか？

17春闘の課題は、いうまでもなく大幅賃上げ獲得で人間らしい生活を取り戻すことだ。全国実行委員会の闘争方針は、「官民連帯春闘 職場討議を重視し、ストライキを配置して闘う」と宣言している。

安倍政権打倒！ 戦争法廃止！ 労働法制改悪反対、均等待遇実現に向けて「貧困・格差・差別を許さない総がかり行動」に集中しよう。

労働大学企画編集委員 奥山 信義